

補助事業番号：26-1-013

補助事業名：平成26年度自転車競技の普及促進及び競技力の向上に資する事業

補助事業者名：公益財団法人日本自転車競技連盟

1. 補助事業の概要

(1)事業の目的

高校生競技者を育成強化し、大学生競技者へと育成することにより、の競技力の一層の向上と競技大会運営能力の更なる向上を目指し、自転車競技の普及促進を図り、もって、もって公益の増進に寄与する。現在の高校生・大学生競技者の育成は我が国の競技力向上に必要不可欠であり、生徒・学生が活動する場を広く提供することは、自転車競技者以外の運動経験者へも門戸を広げることとなり、これによっても自転車競技自体の活性化に寄与するものである。

②日本学生自転車競技連盟事業の実施

ア. 東日本学生選手権トラック自転車競技大会

(平成26年5月10日～11日、福島・泉崎)

イ. 全日本学生選手権チームロード・タイムトライアル大会

(平成26年5月25日、埼玉／加須、羽生・利根川河川敷)

ウ. 全日本学生選手権個人ロードレース大会

(平成26年6月7日～8日、長野／木祖・奥木曽湖)

エ. 全日本学生選手権自転車競技大会（トラック）

(平成26年7月5日～6日、静岡／伊豆ベロドローム)

オ. 全日本大学対抗選手権自転車競技大会

(平成26年8月28日～31日、静岡／日本サイクルスポーツセンター)

カ. 全日本学生自転車競技トラック新人戦・東日本大会

(平成26年10月5日、山梨／笛吹・境川自転車競技場)



2. 予想される事業実施効果

将来の日本代表に育つであろう若手の育成を目的とするものであり、1名でも多くのエリート強化指定選手が生まれることを目指す。

わが国では自転車競技を開始する年齢として、高等学校における自転車部に入部する時期が多いことから、自転車競技者層の拡充を図る上で、高体連事業は重要な事業となっており、女子競技者の拡大を図る上でも、より一層の事業拡大が必要である。

また、高等学校からの自転車競技者の育成事業を途切れさせることなく、一貫した強化を行ううえで、高体連事業と学連事業は一体化したものであると考えられ、強化指定選手をより多く輩出するための土壌となっていく。

(平成26年5月10日～11日、福島・泉崎) ・レポート